

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>

E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp

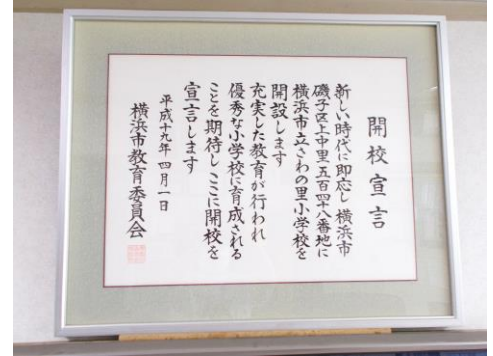
6月号

さわの里小学校は15歳になります
 ～6月26日は創立記念日です～

学校長 鈴木 和枝

先日、正門近くで、本校の校歌について会話をされている方がいらっしゃったそうです。お話をされていたのは、本校を卒業された方とそのご家族。そして在校生。

本校の校歌の歌詞には、さわの里小学校の前身である上中里小学校と氷取沢小学校の保護者の方々、さらに地域の方々が、「校歌に入れたい言葉」として寄せた願いが込められています。その願いとは「青空、桜、銀杏、水、上中里、氷取沢、夢、未来、円海山、緑、磯子のことばを校歌に入れてほしい」とのことだったそうです。1番は「自然」、2番は「知」、3番は「徳」、4番は「体」というまとまりに、そして最も大切な言葉は3番の「心はひとつ」とされたこと、作詞をされた元上中里小学校校長・さわの里小学校初代校長の坂田映子先生の言葉にあります。



さて、校章の色には、大岡川の源流をかかえた水資源豊かなさわの里を象徴する水色、緑につつまれ自然がいっぱいのさわの里を象徴する緑色、澄みわたるオゾンいっぱい青空を象徴する青色、新たな出発に向けての輝く希望と夢を象徴する金色が用いられています。こちらにも、校歌と同じく、保護者と地域の方々の願いが込められ、「心は一つ！同心円！！」と、制作された元氷取沢小学校校長の檜永卓三先生の言があります。

地域の緑豊かな自然、地域の行事を愛し、人との温かなつながりを大切に、大きな夢に向かって学ぶ子どもが育ってほしい、学校は国語や芸術を大切に、地域の文化の中心であってほしい、これからも市民交流や異学年・異校種間交流を進めてほしいとの願いが込められ、本校は誕生しました。こうした「願い」と「これまでのつながり これからへのつながり」をしっかりと思い、「すすんで学び 笑顔かがやく」子どもの姿を追い求める学校でありたいと思う6月です。

横浜市立さわの里小学校	校歌
作詞	坂田 映子
作曲	横山 裕美子
青い空と	あふれる光
春は 桜	秋には いちよう
円海山に	夢がわく
ああ 美しき	さわの里
学びの園に	文化がかおる
科学と平和	知と和を学ぶ
今を生きる子が	集う
ああ 美しき	さわの里
あこがれは	水をたたえた
	氷取
喜びは	いらか波立つ
緑の大地に	抱かれて
心はひとつ	さわの里
心はずませ	未来に
走れ 跳べ	磯子の丘に
力合わせる子が	集う
さわの里小学校	いつまでも
いつまでも	